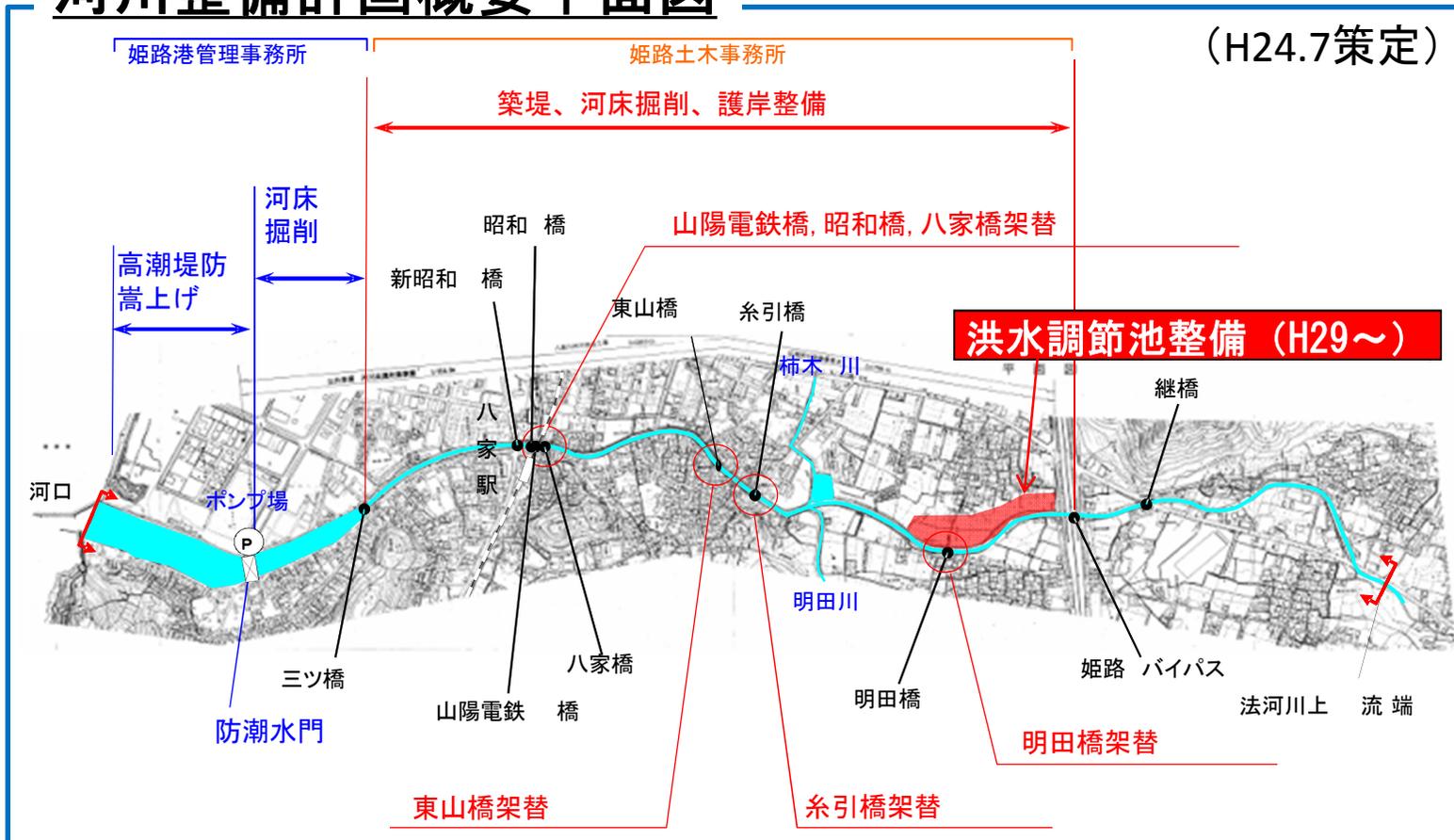


(二) 八家川水系 八家川
洪水調節施設整備について

姫路土木事務所 河川砂防課

河川整備計画概要平面図

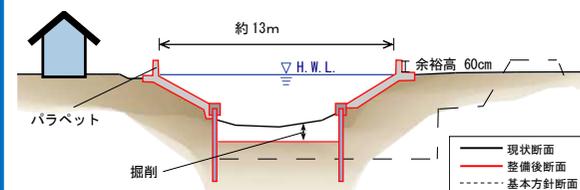
(H24.7策定)



河川名	施行の場所	延長	主要な河川工事の種類
八家川	河口～防潮水門	400m	高潮堤防嵩上げ
	高水敷下流端	-	防潮水門、ポンプ場の整備
	防潮水門～三ツ橋	300m	河床掘削
	三ツ橋～姫路バイパス	2,500m	築堤、河床掘削、護岸整備、橋梁架替(6橋)
	明田川合流地点～姫路バイパス	-	洪水調節施設の整備

横断イメージ

三ツ橋～姫路バイパス区間 (系引橋上流地点)

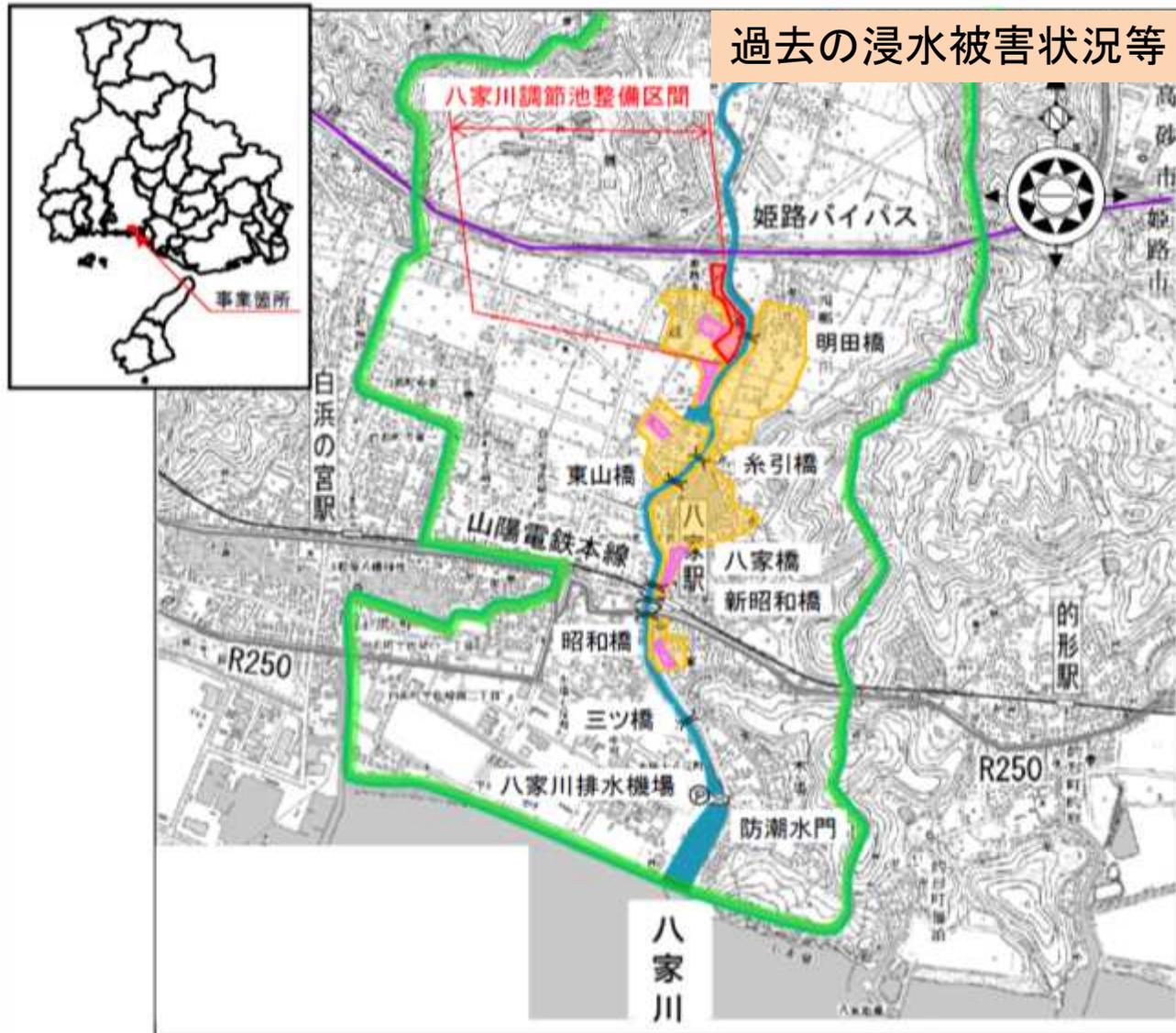


注) 川幅の拡幅については、左岸側に実施するか、右岸側に実施するかは今後検討する。

現状の課題と対応

- ◆河川整備計画では、護岸整備、橋梁架替、河床掘削などを位置づけている。
- ◆護岸整備及び橋梁架替に着手する場合は、下流から順次整備する必要がある。
- ◆沿川には住宅等が連亘していること、山陽電鉄橋梁等の架替が必要なことから、流域全体の治水安全度向上には、多くの時間と費用を要する。
- ◆このことから、早期に流域全体の治水安全度向上を図るためには、調節池整備の先行着手が有効。

過去の浸水被害状況等



発生年月日	名称	被害状況			
		浸水面積 (ha)	浸水家屋数(戸)		
			床上	床下	合計
S40.9.10~15	台風23号	101	70	200	270
H2.9.17~20	台風19号	140	92	296	388
H16.8.30~31	台風16号	13	32	169	201
H16.9.7	台風18号	3	1	28	29

凡例	
流域界	
H16年8月浸水実績	
H16年9月浸水実績	



①
浸水状況 (H16.8)
[姫路市東山地区内]



②
浸水状況 (H16.9)
[姫路市東山地区内]



③
浸水状況 (H16.9)
[姫路市東山地区内]

横断図



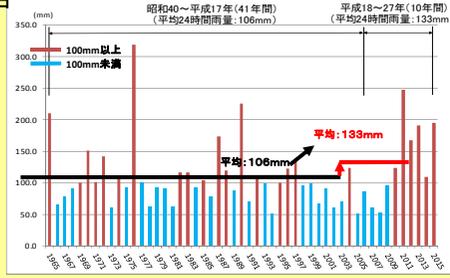
【計画名称】 八家川流域浸水対策プラン

【H29.3.22 100mm/h安心プラン登録】

流域の概要

- 兵庫県姫路市に位置する八家川流域は、河川整備並びに内水対策に取り組んできたものの、近年多発する豪雨で、度重なる浸水被害が生じている。
- 近年では、平成23年9月台風第12号(243.5mm/24h)により、床上浸水14戸、床下浸水103戸の浸水被害が発生した。
- 市街化の進展等により、流域内人口が増加している。
20,028人(S46)→28,882人(H28) 約1.4倍
- 最近10年間では、年最大24時間雨量が増加している。
平成17年まで (平均値)106mm
平成18年～27年:(平均値)133mm
- 河川・下水の法定計画
 - ・河川(整備計画 W=1/20)
 - ・下水道(雨水:事業計画 W=1/10)
- 流域浸水対策プランで対象とする降雨
平成23年9月台風12号 最大時間雨量 243.5mm/24h、55mm/h

平成23年9月台風第12号時の影響



浸水被害の主な要因

- 下水道(雨水排水)の整備を進めているが、近年事業計画を上回る降雨の発生により、流域が浸水する危険性が增大
- 流域内の市街化の進展等により、雨水が河川へ流れ込みやすくなり、流域から河川への雨水の流出量が増加
- ⇒ 流域の関係機関が一体となりハード・ソフトの治水対策を効果的に組み合わせ推進する必要がある。

八家川流域の総合的な治水対策について、兵庫県・姫路市・地元住民からなる「八家川流域浸水対策協議会」で検討し、関係機関が対策を実施

八家川流域浸水対策協議会 平成27年9月～

組織	部局
兵庫県	河川整備課、姫路土木事務所、姫路港管理事務所
姫路市	河川整備課、下水道整備室
地域住民	ヤギ シラハイトヒキ 八木、白浜、糸引地区連合自治会及び農区

八家川流域浸水対策箇所図



取組の内容

- 実施方針
 - ①浸水被害の危険性が高い対象区域において、河川事業と下水道事業の連携による集中的な整備を実施
 - ②対策効果の早期発現
 - ③兵庫県、姫路市、地域住民が連携し、情報周知等によるソフト面の対策
 - ④河川の氾濫を想定した水防訓練の実施等、地域における水防災活動の強化
- 対策効果の早期発現を目指したハード対策
 - ①調節池を整備することにより、下流の洪水流量を低減(兵庫県)
 - ②内水排除能力を増強するため、雨水ポンプ場を2箇所新設(姫路市)
 - ③流出抑制のため、公園整備に合わせた雨水貯留施設を新設(姫路市)
- 流域対策
 - ①農政部局と連携し、既存のため池・水田による貯留効果の活用(姫路市、住民)
 - ②雨水浸透ますの設置による流出抑制(姫路市)
- ソフト対策
 - ①内水ハザードマップの作成・配布、ため池パトロールの実施(姫路市、住民)
 - ②「ひめじ防災ネット」やエリアメール並びに民間企業と連携し緊急放送として情報発信(姫路市、民間企業)

取組の効果

対象とする降雨に対して、床上及び床下浸水被害の低減及び浸水エリアの縮小を図る。